

こどもがまんなか

保護者・学校・園・地域全体が、「子どもの最善の利益」とは何かを中心に置きながら、考えていくことが大切です。

未来への希望を築いていける社会づくり

学んだことを人生と生活の中で生かすだけでなく、学びあいを地域に広げ「ふるさと」を育てる「知の循環」があるまちをつくり、子どもの「ふるさと」に対する思いを育てましょう。

語りあい、人がつながる

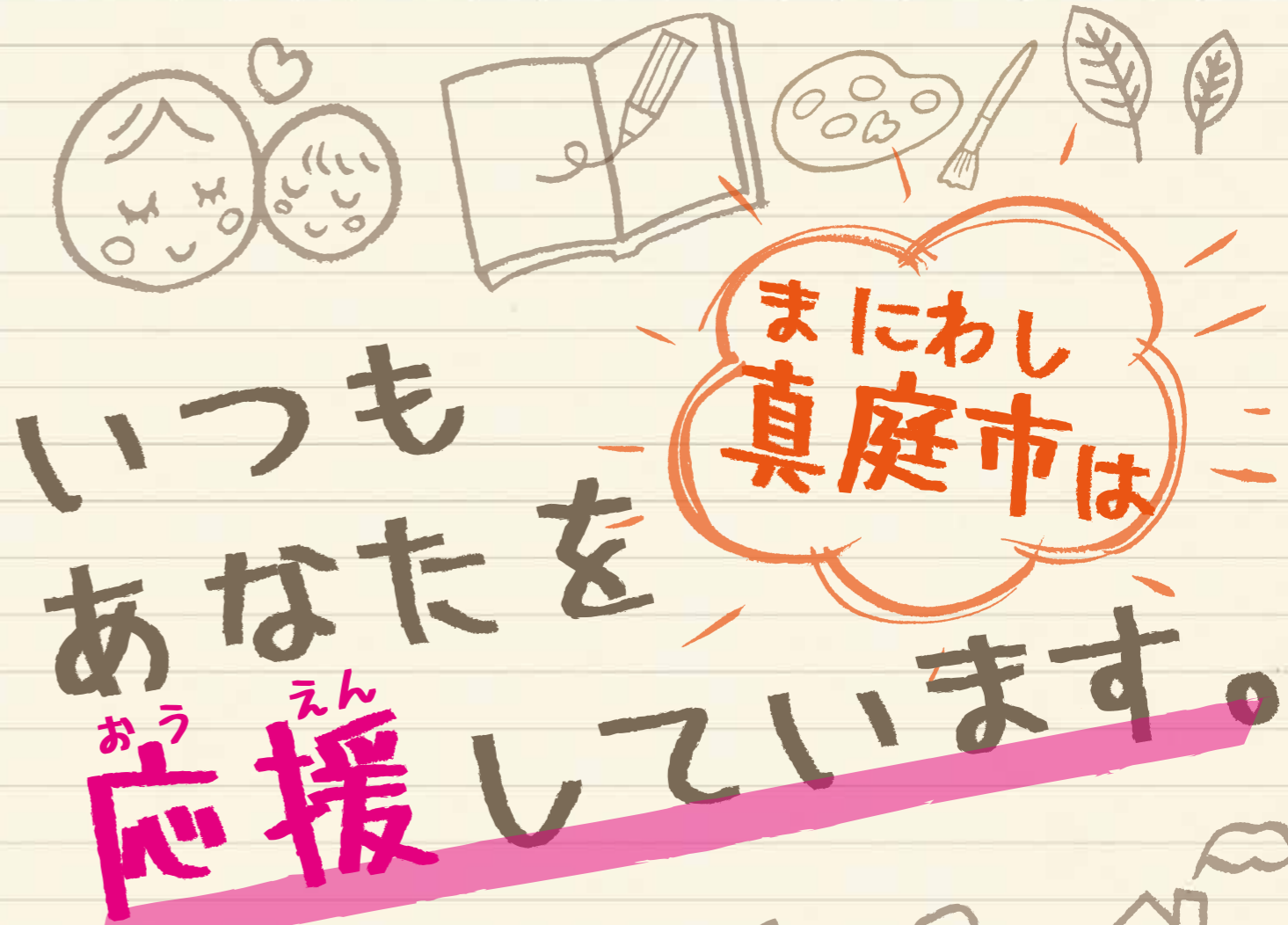
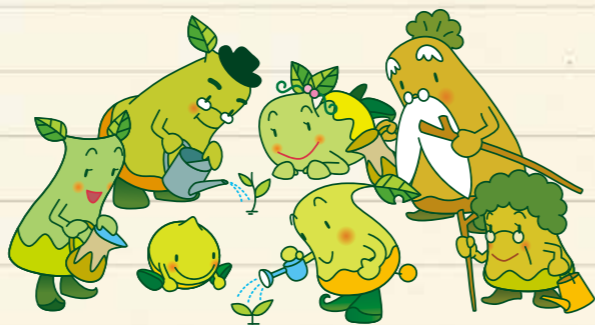
子どもが自分の人生を生きるためには、子どもにつながるすべての者が「語りあう」中で、関係性を築きながら、子どもを育むことが大切です。それは、「子どもの育ちを真ん中に」という理念を実現するものです。

世代を超えて伝えられるもの

自分にあった楽しみやスポーツ。それは、人に伝えることによる喜びを実感できるものです。スポーツや文化を通して、子どもたちが表現するための創造性を育てましょう。

学術にふれる支援や機会づくり

真庭市にも学術研究、芸術活動など様々な分野に取り組んでいる人がいます。そのような真理や創造を求める知的活動にふれる機会をつくりましょう。



個性と能力を十分に伸ばし、互いにライフスタイルを応援しあう「まち」

真庭市は、いつも互いに人生を応援していきます。
応援することは、どんなことかな、ということを考えていきます。
真庭市は、だれもが自分の人生「真庭ライフスタイル」を実現できるまちになります。



はじめに

私たちの周りには、世界が広がっています。

これはなんだろう、どうなっているのだろうと興味をもつことは、生まれたときから持っている「幸せに生きるための力」です。

興味があることを調べたり、考えたり、だれかにたずねたりすることを「たのしみ」、なにかを発見したり、知ったときには、「うれしさ」を感じます。どうやったらできるだろう、どうやってするのだろうと思ひ、自分でやってみることに、わくわくする「面白さ」を感じます。

これらも「幸せに生きるための力」です。

そういうことを生まれた時から何度も経験することで、個性と能力として「幸せに生きるための力」を伸ばしています。

「幸せ」はみんなそれぞれ違います。そして、「幸せ」は自分の手で作っていくものです。

大切なことは、互いに「幸せに生きるための力」を伸ばすことを「応援」することです。

個性と能力を十分に伸ばし、互いにライフスタイルを応援しあう「まち」

人に寄り添い、共に育ち、多彩で豊かな人生を応援しあうことが、真庭市が取り組む「共育」です。

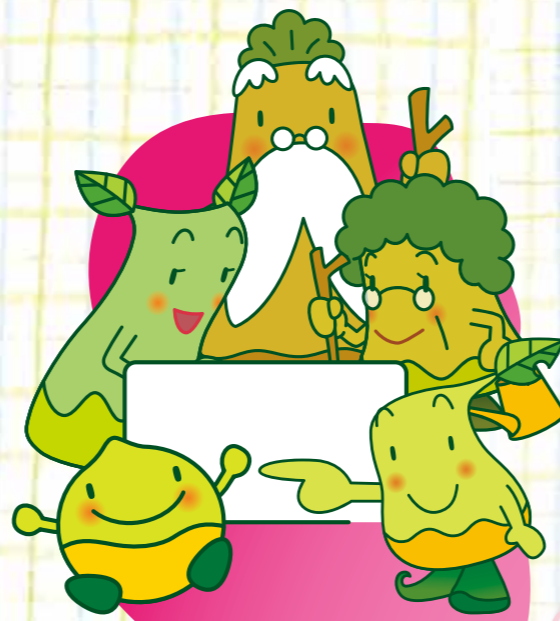
だれもが幸せになるために成長できる「まち」になるように、真庭市に暮らすみんなでお考え、話し合いを続けることこそが、みなさん一人ひとりの「人生を応援すること」です。

大人と大人、子どもと子ども、大人と子どもが話し合うことを通じて、互いに認め「幸せに生きる」ことを応援し、共に育ちあいます。

豊かな生活をめざして

応援しあうことで、真庭市に暮らす一人ひとりが自分の人生を楽しむことが真庭市の目指す「まち」の未来であり、「多彩な真庭の豊かな生活～真庭ライフスタイル」です。

真庭市民は、教育による「豊かな生活」へと一歩を進めています。



響育

互いを認めあい、よいところを育てあう

人の縁とふれあいがたくさんある「まち」の特長を生かし、互いに認めあい、心を通わせ、感動しあい、共鳴しながら、一人ひとりがそれぞれ違う個性と能力を伸ばしあいます。



郷育

ふるさとを知り、ふるさとへの思いを育てる

身近にある豊かな自然と、それに由来する文化、歴史、産業などに興味をもち、知ることが出発点です。真庭市の自然や風土の中での体験や経験を通じて、ふるさとに対する愛情と誇りを育てます。



共育

ひとよそともそだ
人に寄り添い、共に育ち、
たさいゆたじんせい
多彩で豊かな人生を
おうえん
応援しあうこと

響育

協育

郷育



協育

みんなで育てあう

一人ひとりに丁寧に向かいあい、いろいろな人が関わることをできる真庭市の地域コミュニティの力を生かし、「ひと」の横のつながりを培う中で、「ひと」がもつ可能性をより大きく育てます。